

高知県感染症発生動向調査（週報）

2017年 第46週（11月13日～11月19日）

インフルエンザ予防接種について！

中央東でインフルエンザ A 型の患者 1 名の報告がありました。

季節性インフルエンザは、その年により流行の程度に差がありますが、例年 11 月頃から患者が増え始め、12 月から 3 月頃にかけて流行します。インフルエンザワクチンには、インフルエンザウイルスに感染した場合に発症を一定程度抑える効果や重症化を予防する効果が認められており、ワクチンを接種してから抗体ができて予防効果が発現するためには、およそ 2 週間かかると言われています。予防対策の 1 つとして予防接種をご検討下さい。

★お知らせ

○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第 45 週の 3.83 から第 46 週では 3.80 と横ばいです。県全域から報告があり、中央西で急減、高知市で減少していますが、須崎で急増、中央東、安芸で増加しています。

定点医療機関からのホット情報ではノロウイルスが 6 例、細菌のカンピロバクター属菌を原因とする胃腸炎 5 例（第 45 週の報告を含む）、その他に感染性胃腸炎としての報告もあります。

病原体検出情報では第 45 週に幡多から搬入された検体で **Norovirus GII NT** が 1 例検出されています。

また、学校等欠席者・感染症情報システム※でも 15 例の報告があることから引き続き注意が必要です。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、1 年を通して発生していますが、特に冬季に流行します。嘔吐、下痢が主症状ですが、その他、発熱、腹痛などの症状があります。特に、乳幼児や高齢者、体力の低下している方は、下痢、嘔吐などで脱水症状を起こすことがありますので、早めに医療機関を受診してください。通常は 1 週間以内に回復しますが、症状消失後も 1 週間程度、長いときには 1 ヶ月程度ウイルスの排出が続くことがあります。保育園や幼稚園、学校や社会福祉施設など集団生活の場で大規模な流行となることもあり注意が必要です。

予防対策のため、帰宅時や調理前・食事前、トイレの後に石けんでよく手を洗いましょう。また、感染した人の便やおう吐物には、直接触れないようにし、次亜塩素酸ナトリウムまたは、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤の使用法を確認したうえで使用し処理しましょう。（使い捨ての手袋やキッチンペーパーなどを使って処理しましょう。）また、調理をする場合は、十分加熱しましょう。

●厚生労働省 「ノロウイルスに関する Q&A」

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

●衛生研究所 「高知県ノロウイルス対策マニュアル」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/norovirus.html>

※ 学校等欠席者・感染症情報システム：県内小中高等学校における疾病別患者数情報システム

○つつが虫病に気を付けて！

第 46 週につつが虫病の発生届けが 2 例ありました。平成 29 年にはいって合計 3 例の報告になっています。

高知県の過去 5 年の報告数は、平成 28 年 4 人、平成 27 年 0 人、平成 26 年 3 人、平成 25 年 3 人、平成 24 年 8 人となっています。また、報告された患者の 80% が 60 歳以上となっています。

つつが虫病は、病原体（つつが虫病リケッチア）をもったダニの一種であるツツガムシの幼虫（大きさ：0.5mm 程度）に刺されることで感染します。発生時期は、春～初夏及び晩秋～冬ですが、高知県では主に晩秋～冬に発生が多く、報告は中央東福祉保健所管内が 90% 以上となっています。

ツツガムシは日本紅斑熱の原因となるマダニと同じく、野山や畑、草むらなど野外のいろいろなところに生息しています。その全てが病原体を持っているわけではなく、ヒトは病原体を持ったツツガムシに刺されることによって感染します。

主な症状は、ツツガムシに刺された後、5 日から 14 日程度で発症し、高熱（38～40 度）や全身倦怠感、頭痛、悪寒を伴い、赤い発疹が現れます。皮膚の柔らかい隠れた部分にツツガムシに刺された後の刺し口が多くみられます。この「高熱・発疹・刺し口」の 3 つの症状が日本紅斑熱と同じ特徴です。人から人への感染はありませんが、治療が遅れると症状が悪化し、重症化する可能性もあります。もしもと思った時は、早めに受診しましょう。

予防対策は、「ツツガムシに刺されない」ことが重要です。屋外に生息するダニなので、レジャーや農作業等で野山や草むらに入る時には肌の露出を少なくするなどマダニ予防と同じ対策を心がけましょう。

屋外活動の際にはマダニに注意！

第46週にSFTS（重症熱性血小板減少症候群）の発生届けが1例ありました。

日本紅斑熱やSFTS（重症熱性血小板減少症候群）は比較的大型（吸血前で3～4mm）のマダニが媒介する感染症です。

「マダニに咬まれないこと」がとても重要です。

マダニは野山、草地、畑、河川敷などに広く生息しています。屋外でキャンプ、ハイキングなどのレジャーや農作業をする場合には次のことに注意しましょう。（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）

- 長袖・長ズボン・長靴などで肌の露出を少なくしましょう。
- マダニに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を活用しましょう。
- 地面に直接座ったりしないよう、敷物を使用しましょう。
- 活動後は体や衣服をはたき、帰宅後にはすぐに入浴し、マダニに咬まれていないか確認しましょう。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～数週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出て下さい。

また、このたび発熱・衰弱等に加え血小板減少等の所見が見られた飼育ネコ及び飼育イヌの血液・ふん便からSFTSウイルスが検出された事例並びに、体調不良のネコからの咬傷歴があるヒトがSFTSを発症し死亡した事例が確認されました。これらの事例は稀な事例ではありますが、イヌやネコの体液等からヒトが感染することも否定できないので、体調不良の動物に接触した後、発熱等の症状が出た時には医療機関を受診して下さい。その際には、動物との接触歴についても申し出て下さい。

- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関するQ&A（厚生労働省）
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts_qa.html
- 高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

国内で入手できる忌避剤の種類と特徴

忌避剤	有効成分含有率	分類	有効持続時間	注意事項	特徴
ディート	5～10%	防除用 医薬部外品	1～2時間	6ヶ月未満児には 使用禁止	・独特の匂い ・べたつき感 ・プラスチック・化学繊維・皮革を腐食することもある
	12%	防除用 医薬品	約3時間		
	高濃度製剤 30%	防除用 医薬品	約6時間		
イカリジン	5%	防除用 医薬部外品	～6時間		
	高濃度製剤 15%	防除用 医薬品	6～8時間		

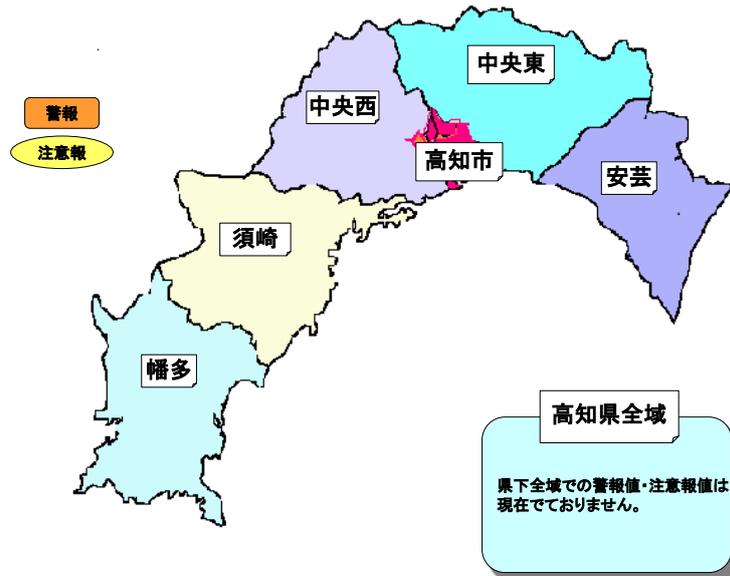
※国立感染症研究所「マダニ対策、今できること」より抜粋
※市販の虫除け剤（忌避剤）は、用法・用量・使用方法等をよく読んで使用してください。

★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患）
 : 急増
 : 増加
 : 横ばい
 : 減少
 : 急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎		3. 80	中央西で急減、高知市で減少していますが、須崎で急増、中央東、安芸で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1. 30	須崎で急減、高知市で減少していますが、中央西で急増、安芸、幡多、中央東で増加しています。
RSウイルス感染症		1. 17	高知市で減少していますが、中央東、幡多で増加しています。
手足口病		0. 67	高知市で減少していますが、安芸、中央東で急増しています。
ヘルパンギーナ		0. 33	安芸、高知市で急減、県全域で減少していますが、中央東で急増しています。

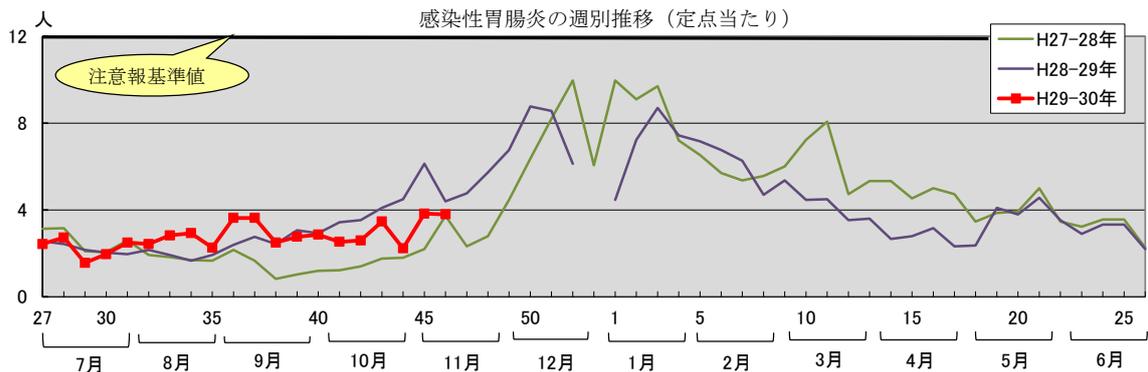
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

○感染性胃腸炎 第46週：3.80（注意報値：12.00 警報値：20.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 3.80（前週：3.83）と横ばいです。中央西 0.67（前週：2.67）で急減、高知市 2.91（前週：4.09）で減少していますが、須崎 0.50（前週：0.00）で急増、中央東 4.57（前週：2.86）安芸 4.00（前週：3.00）で増加しています。



※グラフの途切れについて

H27-H28年は第53週までであるため、グラフ横軸に第53週を挿入しています。そのため、H26-H27年とH28-H29年のグラフ第52週～第1週間に途切れが生じています。

★病原体検出情報

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
42	手足口病	38℃,発疹,口内炎,	5	女	高知市	Human herpes virus 6 Human herpes virus 7
45	感染性胃腸炎	38℃,下痢,	11ヶ月	女	幡多	Norovirus GII NT

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	100	20歳代 女	安芸
4類	重症熱性血小板減少症候群	1	5	60歳代 男	高知市
		1		40歳代 女	
	つつが虫病	1	3	70歳代 男	中央東
5類	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1		18	
		1	80歳代 男		高知市

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
安芸	田野病院小児科	ノロウイルス腸炎 1例 (1歳男)
中央東	早明浦病院小児科	ヘルペス歯肉口内炎 1例 (6歳) 溶連菌感染症が管内保育園で流行中
	おひさまこどもクリニック	カンピロバクター腸炎 1例 (2歳女)
	高知大学医学部付属病院小児科	RSV 細気管支炎 1例 (1ヶ月女)
高知市	高知医療センター小児科	RS ウイルス感染症 2例 (5ヶ月男、1歳男)
	福井小児科・内科・循環器科	溶連菌感染症 9例 手足口病 4例 ヘルパンギーナ 2例
	三愛病院小児科	マイコプラズマ気管支炎 1例 (6歳女)
	けら小児科・アレルギー科	ノロウイルス腸炎 3例 (1歳男、4歳男、5歳男) アデノウイルス咽頭炎 1例 (1歳)
	細木病院小児科	キャンピロバクター 2例 (5歳女、7歳男) ノロウイルス 2例 (2歳女 2人)
中央西	石黒小児科	水痘 1例 (2歳女：ワクチン 1回接種済み)
	くぼたこどもクリニック	水痘 1例 (8歳男：ワクチン 1回接種済み)
須崎	もりはた小児科	ヘルペス性歯肉口内炎 1例 (3歳女) マイコプラズマ肺炎 3例 (4歳、8歳、9歳) 以下 45週 カンピロバクター腸炎 2例 (7歳) 百日咳 1例 (47歳女：子供が百日咳)
幡多	さたけ小児科	RS ウイルス 1例 (0歳) 感染性胃腸炎 15例

★全国情報

第44号 (10月30日～11月5日)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核298例

3類感染症：細菌性赤痢1例、腸管出血性大腸菌感染症72例、腸チフス1例

4類感染症：E型肝炎2例、A型肝炎2例、つつが虫病6例、デング熱1例、日本紅斑熱1例
マラリア4例、レジオネラ症52例、レプトスピラ症1例

5類感染症：アメーバ赤痢12例、ウイルス性肝炎2例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症23例
急性脳炎3例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症8例
後天性免疫不全症候群10例、侵襲性インフルエンザ菌感染症7例
侵襲性肺炎球菌感染症19例、水痘（入院例に限る）2例、梅毒49例
バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例

報告遅れ：細菌性赤痢1例、E型肝炎1例、デング熱2例、日本紅斑熱1例、レジオネラ症5例
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症16例、急性脳炎7例、
劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例、水痘（入院例に限る）2例、梅毒49例
風しん1例、薬剤耐性アシネトバクター感染症1例

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第46週 平成29年11月13日(月)～平成29年11月19日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第46週							計	前週	全国(45週)	高知県(46週未累計) H29/1/2～H29/11/19	全国(45週未累計) H29/1/2～H29/11/12
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	高知市					
インフルエンザ	インフルエンザ		1						1 (0.02)	2 (0.04)	2,588 (0.52)	14,655 (305.31)	1,380,405 (279.26)	
小児科	咽頭結核膜炎				3				3 (0.10)	3 (0.10)	1,984 (0.63)	374 (12.47)	75,822 (24.02)	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	6	23	1		5	39 (1.30)	45 (1.50)	6,914 (2.19)	2,288 (76.27)	305,525 (96.78)		
	感染性胃腸炎	8	32	32	2	1	39	114 (3.80)	115 (3.83)	13,475 (4.27)	5,126 (170.87)	714,830 (226.43)		
	水痘			2	4	2		8 (0.27)	8 (0.27)	1,399 (0.44)	525 (17.50)	47,997 (15.20)		
	手足口病	2	4	14				20 (0.67)	21 (0.70)	4,439 (1.41)	3,248 (108.27)	339,034 (107.39)		
	伝染性紅斑			2				2 (0.07)	(0.00)	225 (0.07)	112 (3.73)	10,693 (3.39)		
	突発性発疹	1		4	1		1	7 (0.23)	7 (0.23)	1,371 (0.43)	483 (16.10)	64,362 (20.39)		
	百日咳							(0.00)	(0.00)	42 (0.01)	25 (0.83)	1,427 (0.45)		
	ヘルパンギーナ	1	4	5				10 (0.33)	15 (0.50)	766 (0.24)	580 (19.33)	83,259 (26.37)		
	流行性耳下腺炎		1				1	2 (0.07)	2 (0.07)	1,188 (0.38)	191 (6.37)	71,658 (22.70)		
RSウイルス感染症		9	15	3	4	4	35 (1.17)	37 (1.23)	2,788 (0.88)	1,681 (56.03)	123,216 (39.03)			
眼科	急性出血性結膜炎							(0.00)	(0.00)	6 (0.01)	(0.00)	375 (0.54)		
	流行性角結膜炎							(0.00)	(0.00)	589 (0.85)	15 (5.00)	22,761 (32.75)		
基幹	細菌性髄膜炎			1				1 (0.13)	1 (0.13)	19 (0.04)	6 (0.75)	463 (0.97)		
	無菌性髄膜炎							()	(0.00)	24 (0.05)	7 (0.88)	855 (1.79)		
	マイコプラズマ肺炎			1				1 (0.13)	2 (0.25)	247 (0.52)	82 (10.25)	7,025 (14.73)		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)							()	(0.00)	4 (0.01)	11 (1.38)	231 (0.48)		
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)							()	(0.00)	5 (0.01)	87 (10.88)	4,887 (10.25)		
計	(小児科定点当たり人数)	16 (8.00)	57 (8.09)	102 (9.07)	11 (3.66)	7 (3.50)	50 (10.00)	243 (8.03)		38,073	29,496 (793.08)	3,254,825		
前週	(小児科定点当たり人数)	13 (6.50)	37 (5.14)	142 (12.67)	12 (4.00)	10 (5.00)	44 (8.80)		258 (8.47)					

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関)定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第46週							計	前週	全国(45週)	高知県(46週未累計) H29/1/2～H29/11/19	全国(45週未累計) H29/1/2～H29/11/12
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	高知市					
インフルエンザ	インフルエンザ		0.09						0.02	0.04	0.52	305.31	279.26	
小児科	咽頭結核膜炎				0.27				0.10	0.10	0.63	12.47	24.02	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.00	0.86	2.09	0.33		1.00	1.30	1.50	2.19	76.27	96.78		
	感染性胃腸炎	4.00	4.57	2.91	0.67	0.50	7.80	3.80	3.83	4.27	170.87	226.43		
	水痘			0.18	1.33	1.00		0.27	0.27	0.44	17.50	15.20		
	手足口病	1.00	0.57	1.27				0.67	0.70	1.41	108.27	107.39		
	伝染性紅斑			0.18				0.07	0.00	0.07	3.73	3.39		
	突発性発疹	0.50		0.36	0.33		0.20	0.23	0.23	0.43	16.10	20.39		
	百日咳							0.00	0.00	0.01	0.83	0.45		
	ヘルパンギーナ	0.50	0.57	0.45				0.33	0.50	0.24	19.33	26.37		
	流行性耳下腺炎		0.14				0.20	0.07	0.07	0.38	6.37	22.70		
RSウイルス感染症		1.29	1.36	1.00	2.00	0.80	1.17	1.23	0.88	56.03	39.03			
眼科	急性出血性結膜炎							0.00	0.00	0.01	0.00	0.54		
	流行性角結膜炎							0.00	0.00	0.85	5.00	32.75		
基幹	細菌性髄膜炎			0.20				0.13	0.13	0.04	0.75	0.97		
	無菌性髄膜炎							0.00	0.00	0.05	0.88	1.79		
	マイコプラズマ肺炎			0.20				0.13	0.25	0.52	10.25	14.73		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)							0.00	0.00	0.01	1.38	0.48		
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)							0.00	0.00	0.01	10.88	10.25		
計	(小児科定点当たり人数)	8.00	8.09	9.07	3.66	3.50	10.00	8.03			793.08			
前週	(小児科定点当たり人数)	6.50	5.14	12.67	4.00	5.00	8.80		8.47					

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）

〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎1階）

TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869

この情報に記載のデータは2017年11月20日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。